

**【1年次・後期〔講義〕2単位 必修】全学**

《目的》キリスト教思想における世界観、人間観を学ぶことを通して、人生の意義や人間の尊厳、死に対する考え方を身につけ、人間らしく豊かに生きるための指針を探る。

《到達目標》1. キリスト教思想に関する基礎知識・教養を習得し、それについて説明できるようになる。  
2. 習得した知識・教養を活かして、人生の課題に主体的に取り組めるようになる。

《評価基準》①試験・小論文(80%)  
②受講態度(20%)

《テキスト》『聖書—旧約聖書続編つき 新共同訳』（日本聖書協会）  
アルフォンス・デーケン著『キリスト教と私』（聖母の騎士社）

《指定図書》なし。

《履修上の注意》なし。

《授業計画》

1. 私は誰か
2. 今を生きる
3. 人生の意義（生きがい）について
4. 宗教とは何か(1)—宗教の起源
5. 宗教とは何か(2)—宗教が人間社会に果たす役割
6. 宗教とは何か(3)—宗教と科学との関係
7. 一神教（ユダヤ教）の成立
8. 聖書という書物
9. 創造物語（旧約聖書）の世界観
10. 創造物語（旧約聖書）の人間観
11. 人間の「罪」について—創世記3章「失楽園」の物語から
12. 苦しみについての問い—ヨブ記をめぐる考察
13. ユダヤ教からキリスト教へ—イエス・キリストの登場
14. イエス・キリストの言葉と行い(1)—マルコ福音書から
15. イエス・キリストの言葉と行い(2)—ルカ福音書から

**【1 年次・後期〔講義〕 2 単位 選択】 全学**

《目 的》正しく善く生きること（倫理）について探究するための知識を学び、人間らしく善く生きるための思考方法を身につける。

《到達目標》1. 基本的な倫理学理論・用語について理解し、説明できるようになる。  
2. 物事の善悪について思考する習慣を身につけ、自己の生き方を善くすることに活かせるようになる。

《評価基準》①受講態度(20%)  
②研究レポート(80%)

《テキスト》なし（テーマごとに講義レジュメ、参考資料を配付する）。

《指定図書》なし。

《履修上の注意》研究レポートを作成するために、講義内容に関連する 3 冊以上の本を読むこと。

**《授業計画》**

1. 正しく生きること（倫理）とは何か
2. 善悪の判断基準をめぐる諸説(1)——非認識説
3. 善悪の判断基準をめぐる諸説(2)——認識説
4. 自然道徳律——倫理の成立根拠に関する考察
5. 道徳と法律との関係——核兵器は国際人道法上、合法か違法かをめぐって
6. I・カントの道徳哲学
7. M・シェラーの価値人格主義
8. 良心に関する考察(1)——経験論か合理論か
9. 良心に関する考察(2)——討論：良心を育てる教育とは
10. 生命倫理(1)——生命観と生命の尊厳
11. 生命倫理(2)——初期の生命をめぐる問題（人工妊娠中絶と出生前診断）
12. 生命倫理(3)——終末期の生命をめぐる問題（尊厳死と安楽死）
13. 性をめぐる倫理(1)——人間にとっての性の意味と自己決定
14. 性をめぐる倫理(2)——性と結婚の関係
15. 研究レポート作成指導